

○発表事項5

「(仮称)おだタク・おだチケ実証事業」について

- ・定例記者会見資料5をご覧ください。
- ・公共交通は生活に欠かせない移動手段ですが、路線バスについては、利用者の減少、運転士不足などにより大幅な減便が行われ、特に日中に空白時間帯が生じている地区に加え、高齢者を中心に駅やバス停から離れている地区にお住まいの方々の、日常的な移動支援のニーズが高いことを、市民アンケート等により確認しました。
- ・そこで「(仮称) おだタク・おだチケ実証事業」を令和5年11月から令和6年3月まで実施します。
- ・実証事業の内容の検討に当たり、日中に路線バスの空白時間帯が生じている地域の方々との意見交換を行いました。その中では、「バスが走っていない時間があり不便」、「バスでなくても良いので移動手段を増やして欲しい」という声や、「自宅から乗り換え無く目的地まで移動可能なもの」を期待する声が強く、また、高齢者に加え、子育て世代からも、移動支援のニーズが高まっていることが分かりました。
- ・現在、資料下段にありますとおり、路線バスの空白時間にaついて、神奈川中央交通では、午前と午後あわせて約4時間、富士急湘南バスでは、昼間の時間帯で約5時間の空白時間帯があります。
- ・このことから、神奈川中央交通と富士急湘南バスの日中の空白時間帯のバス路線を含む、曾我・下曾我・国府津・前羽・橘北地区内において、2つの実証事業を行うこととしました。

- ・ 2 (2) の事業概要ですが、まず、「ア 相乗りタクシー『 (仮称)おだタク』の運行」につきましては、国府津駅から前羽・橘北地区を運行するバス路線のうち、国道 1 号区間の日中の空白時間帯に、事前予約制の相乗りタクシー 1 台 (最大 4 名乗車) を 1 便につき運賃 600 円で運行します。
- ・次に、「イ タクシー・路線バス共通助成券『 (仮称)おだチケ』の配布」につきましては、空白時間帯が生じていることや、駅・バス停から離れていることで、日中の移動手段に課題がある対象地区にお住まいの、75 歳以上の運転免許証をお持ちでない方に、タクシーと路線バスで利用できる共通の助成券を 12, 000 円分、お配りします。
- ・この実証事業の利用実態や効果を検証し、現在策定中の地域公共交通計画に地域の実情に応じた移動支援策の位置付けを検討してまいります。